

使ってますか？ ジェネリック医薬品



ジェネリックのススメ

ジェネリック医薬品は、後発医薬品ともいわれ、新薬と同じ有効成分を含有、同じ効果・効能・安全性のある薬です。

日本での普及率は約80%と、私たちの生活に浸透しつつあるジェネリック医薬品について、改めてご説明いたします。



ジェネリック 医薬品って？



開発コストが抑えられてるので、低価格

ジェネリック医薬品は、新薬の特許期間が過ぎた後に同じ有効成分でつくられる薬です。開発期間が短縮でき、開発コストも抑えられるので、同等の効き目でありながら、新薬よりもお得な価格で販売が可能です。

薬代を 大幅に節約

新薬の
約2～7割の
価格



ジェネリック医薬品は新薬の約2割～7割の価格で販売されます。長期間服用する場合は薬代を大幅に節約することができ、家計の負担が軽くなります。かぜなどの一般的な病気でも、家族全員分をジェネリックに切り替えれば、相応の節約効果が期待できます。

新しい技術で のみやすく改良



味の改良や
薬の小型化も！

新薬の発売から数十年経って開発されるジェネリック医薬品のなかには、味の改良や小型化、水無しでのめるOD錠（口腔内崩壊錠）など、新しい技術で改良されたものもあります。



AG(オーソライズド・ジェネリック)もおすすめ

AGは、新薬メーカーから許諾を受けて製造販売されるジェネリック医薬品です。新薬と同じ工場（違う場合もある）で、原薬、添加剤などを新薬と同一にして製造されます。また、一般的なジェネリック医薬品より半年程度早く販売される場合もあります。AGはすべてのジェネリック医薬品にあるわけではなく、まだまだ種類が少ないですが、ジェネリック医薬品の普及率アップや医療費の削減効果が期待されています。